

主題 Let's do it now!

副題 2022 に向けて誇りを持って All is well.

理事方針

ワイズメンズクラブ創立 100 周年、そして西日本区発足 25 周年である西暦 2022 年がまもなくやってきます。この節目の年に向けて西日本区ではワイズ将来構想特別委員会が様々なことを企画しメンバー増強、そしてより強い組織作りのために活動を行っています。もちろんワイズ将来構想特別委員会は一生懸命に様々なことを考え活動しているのですが、はたしてワイズ将来構想特別委員会に任せきりでいいのでしょうか。ワイズメンズクラブの発展を生み出すのはメンバーひとり一人でありメンバーが所属するクラブではないでしょうか。

より人が集まるクラブとはメンバー全員が魅力を感じるクラブだと思います。ではどうしたら魅力を感じるクラブができるのでしょうか？それには色々な方策があると思いますが、ただ単に居心地の良いクラブからの脱却ではないでしょうか。例会に行くのが楽しみになる、それは例会の内容はもちろんのこと、人と人の交わりにより生まれる人の成長を自分の中で感じることができればクラブの魅力に十分に感じることができその喜びを自分の周囲に伝えたいと思います。

このようにクラブを発展させるためには個々の力が当然大きいのですが同時に、広報活動が大きな要素になることは間違いありません。皆様も自身の仕事の中で広報の重要性というのは十分に承知されていると思います。ワイズメンズクラブも同じです。より効果の高い方法で広報をタイムリーに行っていくことが我々の活動を世の中の人たちに認知してもらうには絶対に必要です。現在西日本区には広報・情報委員会がありますが、各部に目を向けると広報的な委員会を持つ部は少ないのが現状です。クラブ内においてはプリテン委員会が兼務で広報を行っているケースが多いのかと思います。是非各部においても広報を担当する委員会を設置していただき区・部・クラブが一体となりワイズメンズクラブが広く世の中に認知され好感度を上げるために活動していただきたいと思います。

広報を考えるとときに一つの提案があります。それはワイズデーの活用です。日本で初めて大阪クラブが国際協会に加盟した 11 月 10 日をワイズデーと定めていますそのワイズデーを利用して各部や、もし部単位が難しければいくつかのクラブが協力して、もちろん 1 クラブ単体でも構いません、なにか社会にワイズメンズクラブを大きくアピールする事業を行っていただければと思います。もちろん 11 月 10 日は平日ですからその前後の土日を利用して行う事になります。そしてこの事業をメディアを通じて大いに広報してほしいのです。

西日本の各地で 11 月 10 日前後に様々な事業が行われワイズメンズクラブをアピールし認知度を高める事ができれば部やクラブにとっても非常にやりがいのある事業になると思います。是非強い気持ちで実現したいものです。

その他色々大切な事業がありますが、みんなで一致団結し 2022 に向けて強く大きな西日本区をつくっていきましょう。そして最後にみんなで感動しませんか。



2020-2021 年度
西日本区理事 古田 裕和

■6月13日(土)理事引継式が行われました。

6月13日(土)戸所直前理事がオーナーである計画工房 IT の特設会場で理事引継式が行われ、西日本区第24代理事となりましたこれから1年間よろしくお願いたします。

理事主題を「Let's do it now!」副題を「2022 に向け誇りを持って All is well」としました。ワイズメンズクラブ創設 100 周年にあたる 2022 年を2年後に控え 2022 年には会員数 2022 名という目標を掲げ大きく前進させようと考えていました。ところが新型コロナウイルス感染拡大により自粛という今まで経験したことのない世の中になってしまいました。高く掲げた目標と自粛という現実非常に戸惑い悩みましたが、非常に困難な状態でもその中でできる最高のことを考え行動していくことが目標に一步でも近づく方策であると考えを新たに 2022 の目標に向けて突き進みますので、どうぞよろしくお願いたします。

会員増強の肝はやはりクラブに魅力があること、そしてクラブを構成するメンバーの意識が高いと言うことではないでしょうか。西日本区の全クラブが素晴らしいクラブになれるように一緒に頑張っていきたいと思います！



2020-2021 年度
西日本区理事 古田 裕和

■事業主任の紹介

これからの1年間、感動できるワイズ活動を皆様と共に歩んでいきたいと思ひます。

YMCAサービス・ユース事業

主任 益国 隆人

はなれていてもつながっている
これまでの活動や事業が制限されるなか、各地の YMCA は頑張って新しい支援の試みを始めています。私達ワイズも YMCA を支える気持ちを新たに、互いに強く繋がっていきましょう。



国際・交流事業

主任 中堀 清哲

コロナ禍の真ただ中に国際・交流主任を仰せつかりましたが、様々な交流をできる限り控えるのがコロナウイルスへの対策です。主任としても頭の痛いところですが、このような状況下におけるワイズメンとしての交流のあり方を模索し、皆様からの知恵を拝借したいものだと思っております。初めてのネット会議での新鮮さと感動を皆様にも体験していただきたいですし、直筆の手紙なども見直されるべきでしょう。皆様と一緒にワイズダムのことをじっくり考えましょう。



地域奉仕・環境事業

主任 藤好 基子

私たちは一人ひとり違う賜物を頂いていることにお気付きですか？それは家族、仕事、資産、健康、友人だったりします。今、困難の中にいる方々を忘れずにワイズメンとして思いやりをもって一步一步進んで参りましょう！



メネット事業

主任 吉本 典子

「勇気とやさしさを持って！
小さな事でも世界は変えられます。」
メネットの皆さんは女性ならではのやさしさ(アイデア)を持っておられます。国内プロジェクトは、新型コロナ禍の下、ポジティブネットの活動を行う YMCA への支援です。メネットのやさしさ、新たな気付きでの支援をお願いいたします。メンと共にワイズ運動を推進しましょう。



EMC事業

主任 竹園 憲二

EMC でメンバー増強は、メンバーの皆さんも大変意識されていると思ひます。新型コロナによって思わぬ事態になったメンバーもおられる中、どうして乗り越えるか。乗り越える先には今まで以上の何かがあるのかをテーマに MC に力を入れたいと思ひます。



■新しい社会 (New Normal) との共生を目指して

本来であれば、7月 は理事交代期として、私が所属する東日本区の富士山部では、毎週のように、各クラブの例会に参加して、各地のメンバーとの交流が活発に行われる時期です。毎年、この時期には、遠方の例会まで行くことで、わくわくしておりました。おそらく、各地の皆様にも DBC や IBC、そして合同例会などではこのような感覚がおりではないでしょうか。

新型コロナウイルスの影響や、今後の感染拡大の再発を考えると、確かに何もできなくなるようにも思いますし、無理は決してできません。そのうえで、私たちには、「はなれていてもつながっている」という、新しい社会に向かう途中での経験値が積み上げられつつあります。New Normal という現実は、おそらくは、避けて通れないことですので、積極的に受け入れていくことで、私たち自身の変容が期待できるという前向きな考えもあるかと存じます。ポジティブネットのある豊かな社会とは、「変化に適応できる社会」と言い換えることになるのかもしれませんが。私たちの、新しい生き方は、変化を楽しみ、ワイズライフと YMCA 活動の新しい地平を望むような生き方であればと願っています。

日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生 (三島)

■新型コロナ (COVID-19) 対策特別委員会としてのお願い

古田理事期が始まった現在にあっても新型コロナの惨禍は事態に予断を許さない状態が続き、メンバーの皆が生活環境や事業環境に大きな影響を受けています。

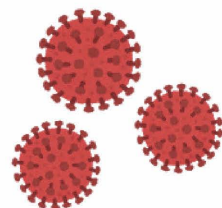
- このことで、先人が営々と続けてこられたワイズの歩みが停滞することがあってはならない。
 - 縁あってワイズメンとなられた方々がワイズを去らなければならない事態はあってはならない。
 - 支援している YMCA や各クラブが支援している団体の弱体化に手を差し伸べる。
- これらをテーマに委員会が動いています。

今、緊急に必要なアクションは、

- 1) そばにいる疲弊しているメンバーに声をかけ、出来る手助けの策を講じること。
e x. クラブ会費の免除、出席義務を一時的解除する。
- 2) クラブ運営、部に対して援助の方策を講じること。

次には

年間活動スケジュールを変更せざるを得ないことがもたらす混乱とクラブ、部の経費負担の増加への支援方策を考えることです。



今後の変わりゆく事態に対応すべく、適宜アンケートを行って情報を収集することに努め、最善の方策を講じ、メンバーの皆様のご理解と御協力を仰ぎながら委員会を運営していきたいと思っております。そのための、コロナ基金への献金をお願いします。

▶ 目標 / 2,000万円 ▶ 期日 / 2020年7月末日まで

ワイズメンがワイズを支援するために
『STAY ワイズ KEEP ワイズダム』

ご意見情報の提供等もあわせ、どうかご協力をお願いいたします。
新型コロナ (COVID-19) 対策特別委員会 委員長 戸所岩雄

■7月の西日本区強調活動

キックオフの月、EMC-MCの強調月間です！

新たな自分、そして新たなメンバーを
迎え入れる体勢を心がけよう。

EMC事業主任 竹園 憲二 (京都 ZEROクラブ)



■2020～2021年年度 西日本区事業目標

YMCAサービス・ユース献金 (国際ASF含む) 1人あたり2,000円	YES (Y's Extension Support)献金 1人あたり500円
地域奉仕活動 (CS)献金 1人あたり1,500円	災害支援金(東日本大震災・熊本地震復興支援金等) 合計200万円
TOF (Time of Fast)献金 1人あたり1,400円	E (Extension) 新クラブ設立 +4クラブ
FF (Family Fast)献金 1人あたり800円	MC (Membership&Conservation) 会員数増強 前期末+200名
BF (Brotherhood Fund)献金 1人あたり1,500円	情報発信 区報 年3回、理事通信 年12回
EF(Endowment Fund)献金 記念ごと献金 1口120CHF 合計3,000CHF	LT (Leadership Training) 次期役員研修会、次期会長・主査研修会 各1回
JWF(Japan West Y's Men's Fund)献金 記念ごとの献金 1口5,000円 目標 合計50万円	RBM (ロールバックマラリア) 献金 1人あたり800円
	レガシー基金 1人あたり1,000円

■P.W.アレキサンダー基金(レガシー基金)

国際が2022年とその先に向けて、において定めた目標を達成するために「チャレンジ22」を発表しました。その中に「遺産と共通のインパクト」という項目がありその中には、創始者である P.W.アレキサンダーを顕彰した伝統を受け継ぎ発展させるためのプロジェクトを実施し、そのための献金を募る。とあります。そのための献金です。

計画の概要

- ・オハイオ州トレドに墓碑、記念壁設置、公園の名称を変更する。
- ・記録文書のデジタル化、公開。
- ・ジュネーブの国際本部事務所スペース確保。
- ・新しい国際プロジェクトの開設。

献金目標

- ・2019年から3年間で100万USドル。
- ・アジア太平洋地域：10万USドル、東日本区23,661USドル、西日本区40,765USドル。この額をメンバー数で割ると約1人あたり1,000円という金額になります。

☆2020～2021西日本区での献金目標は1メンバーあたり年間1,000円以上となります。
クラブ毎にメンバーから献金を募りクラブ単位で西日本区に送金してください。

送金締め切り
2021年3月15日

レガシー基金表彰 献金額ベスト3、献金額達成賞

今期大野勉ワイズが国際議員に就任されたことも考慮して基金の目標を定めました。
以上ご理解を賜りまして献金をよろしくお願いいたします。

■部会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

■周年例会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

■西日本区大会情報

2021年

6月5日(土)／6日(日)

ワイズメンズクラブ国際協会

第24回西日本区大会

大会会場 / 懇親会 : ウェステイン都ホテル京都

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って

All is well.

INTERNATIONAL CALL

Let's do it now!

2020-21年度
西日本区理事 古田裕和

ワイズメンズクラブ国際協会

2021年
6月5日土
6月6日日

第24回 西日本区大会

大会会場、懇親会、
ウェステイン都ホテル京都

ホストクラブ
京都トゥービークラブ

2022 に向け誇りを持って

All is well.

■理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、
書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。

安井 ▶

高倉 ▶

